

日本平夢テラスの指定管理に係る外部評価委員会の評価結果

令和6年9月30日
静岡県スポーツ・文化観光部
観光交流局観光政策課

1 評価の趣旨

日本平山頂シンボル施設（愛称：日本平夢テラス）における指定管理者の管理運営等について、外部評価委員会による評価を行った。（評価期間：令和5年度）

評価結果は、90点（100点満点）であった。詳細は以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

2 指定管理の概要

(1) 指定管理者

A S C日本平グループ

代表企業 アクティオ株式会社

構成団体 静岡ビル保養株式会社

特定非営利活動法人コンベンション静岡

(2) 指定管理期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 評価項目と配点

評価項目	1人当たりの 持ち点	計 (5点×5人)	
管理運営の基本方針	5点	25点	
施設への来訪促進	満足度向上、誘客活動、 ラウンジ運営、自主事業、地域連携	5点	25点
適正な施設管理	5点	25点	
安定的な経営管理	5点	25点	
昨年度の指摘事項の改善状況	5点	25点	
計	25点	125点 ※発表時は 100点満点に換算	

5点「非常に優れている」 4点「やや優れている」 3点「標準」

2点「取組の見直しが必要」 1点「根本的な改善が必要」

4 開催概要

(1) 委員

氏名	職名
寺崎 竜雄（委員長）	静岡県立大学経営情報学部 講師
久保田 隆	静岡市ホテル旅館協同組合 代表理事
詩歩	株式会社 C a s k e t 代表取締役（絶景プロデューサー）
白鳥 三和子	税理士法人 静岡みらい 代表社員
鈴木 良則	一般社団法人 静岡県経営者協会 専務理事

(2) 開催日・開催場所

令和6年8月28日(水) 静岡県庁別館8階第一会議室D(静岡市葵区追手町9-6)

5 評価結果

評価項目	評価点	前年度	
管理運営の基本方針	24点 / 25点	24点 / 25点	
施設の来訪促進	満足度向上、誘客活動、 ラウンジ運営、自主事業、地域連携	19点 / 25点	21点 / 25点
適正な施設管理	24点 / 25点	24点 / 25点	
安定的な経営管理	23点 / 25点	22点 / 25点	
昨年度の指摘事項の改善状況	22点 / 25点	21点 / 25点	
合計	112点 / 125点	112点 / 125点	
100点満点換算	90点 / 100点	90点 / 100点	

6 委員の主な意見

(1) 管理運営の基本方針について

- ・ 指定管理者として、非常に真摯に、精力的に取り組まれている。
- ・ コロナ禍の間も、事故は無く、施設運営で一番大切な安心安全な運営ができています。
- ・ 今後は、静岡県の観光全体を考えた時に、この施設が、どういう方向に進んでいけば良いかということも、県と相談しながら検討していただきたい。

(2) 満足度向上について

- ・ ラウンジの売上が計画時に比べて非常に良いのは、季節に応じたメニューによる販売など、工夫をされた成果である。
- ・ ラウンジのメニューについては、「この施設でしか食べられないもの」や、「写真映えを意識したもの」等を提供できると、来館者も増えるのではないかと。
- ・ 今後は、夜のイベントや早朝の見どころなど、特別感のあるイベントや体験を提供することで、来訪者の増加、満足度の向上につなげてもらいたい。

(3) 誘客活動(広報、営業活動)について

- ・ ホームページについては、昨年度の指摘事項が着実に改善されている。
- ・ SNSによるPRは、もっと富士山を全面に出して発信すること、施設の基本的な情報をより丁寧に発信することなど、改善の余地がある。
- ・ また、SNSによる発信については、多言語での情報発信など、訪日外国人旅行者を意識した取組も必要である。

(4) 地域連携について

- ・ 久能山東照宮との連携など、近隣の歴史文化資源とのコラボレーションが進んでおり、取組の継続を期待する。
- ・ 地元企業と連携した商品開発など、地域との連携を進め、来館者へのサービス向上につながる取組を期待する。